

### 佐伯 区民主体で各テーマに沿ったまちづくり

「花と緑」「高齢者」「商店街」「町内会」「防災」の各テーマに取り組む部会が、それぞれまちづくりを進めています。

活動主体：佐伯区まちづくり百人委員会

#### 各テーマで身近な課題に取り組み

区は、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めるために、平成24年度に「佐伯区まちづくり百人委員会」を設置。現在、5つの部会のメンバーが、身近な課題に取り組んでいます。

部会	まちづくりのテーマ
花部会	花と緑いっぱい佐伯区
高齢者活性化部会	高齢者にやさしく、活き活き暮らせるまちづくり
商店街部会	人が集いにぎわいのある商店街づくり
町内会いきいき部会	町内会への加入を促進し、地域コミュニティの活性化を実現するまちづくり
災害に強いまちづくり部会	誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを住民の視点から実現する

#### 自分ができるお手伝いを



花部会は、区スポーツセンターの花壇などの整備(下写真)や区民文化センターのたる鉢に花を植える活動などを行っています。部会員の若宮妙子さん(79・左写真)は「花壇をご覧にな

った人が明るい気持ちになれるようにと活動しています。今後も、花の好きな人に自分ができるお手伝いをしたいです」と笑顔で話します。



災害に強いまちづくり部会は、大地震の際に役立つ情報を掲載した防災パンフレット(右)を作成。昨年度からは、「豪雨から命を守る」をテーマとして、課題に取り組んでいます。



### 安佐南 地域の復興プランを基に、災害に強いまちづくり

平成26年8月豪雨災害からの復興に向け、地域主体で復興まちづくりプランを作成。市と協力して公園などの整備に取り組んでいます。

活動主体：梅林学区復興まちづくり協議会

#### 愛着が湧き末永く利用される公園を目指して

プランに掲げる地域の将来像「防災意識を高め合い、安全に自然環境を楽しむまち」を実現するため、協議会と市は、被災した八敷公園(緑井七丁目)の拡張整備について、昨年、ワークショップを3回にわたり開催しました。

各回約20人の住民が参加。「どんな公園にしたいか」というテーマの下、必要な機能や施設などについてグループごとに意見を出し合い、レイアウト案を発表。災害に強いまちづくりを自分事として感じるきっかけとなりました。



参加者は3グループに分かれて意見を出し合い、発表。意見を交わした

#### 公園を「災害の記憶と経験の継承」の場に

八木三丁目では、新たな公園の整備工事が本格化しています。住民同士の話し合いは、平時には豊かな暮らしを彩る場として、有事には命を守る場として公園を活用できるようイメージしながら進められました。



この公園の一角には豪雨災害伝承館(仮称)が併設されます。協議会の菅原辰幸会長(上写真)は「伝承館では、協議会を母体に設立した一般社団法人が中心となって、災害の経験や記憶、教訓を語り継ぎ、来館者や地域住民の減災につなげてもらいたい」と期待を寄せています。



公園の完成イメージ

### 安佐北 課題を克服、地域一丸でワクチン集団接種

自治会が中心となって、新型コロナウイルスワクチン接種の予約の取りまとめや会場の調整などを行い、1,500人以上が接種しました。

活動主体：あさひが丘連合自治会

#### 学区内に会場設置、無料送迎も実施



設置について区と協議を重ねました。その結果、あさひが丘連合自治会が中心となり、チラシ配布による住民への周知、予約のとりまとめ、会場や無料送迎バスの調整を行い、延べ12日間で1,620人に2回の接種ができました。同自治会の尾田豊機会長(78・上写真)は「歩いて行ける場所で多くの高齢者が接種できて安心しま

昨年のワクチン接種に当たり、日浦中学校区では、個別接種可能な医療機関がないこと、集団接種会場への交通の利便性が悪いことから、学区内での集団接種会場



昨年の接種会場

した。自治会や老人会など学区内の住民団体と区役所が一致団結した成果です」と振り返ります。

#### 昨年の経験を生かし3回目接種へ

3月に実施予定の3回目接種に向け、昨年12月から準備開始。前回の反省点を協力団体と話し合い、より安全でスムーズに実施できるような流れを計画しました。

会長は「前回との大きな違いは、対象者が2回の接種を終えて6カ月以上経過していること。その確認を確実にするため、前回同様、予約は対面で行い、無事に終わられるよう連携して取り組みます」と力強く語ります。



3回目の予約について申請者と対面で確認

### 西 区自慢の食を知って、作って食べて、元気に!

区ゆかりの食についての学びや体験を提供。レシピコンテストなどを通して食と健康の情報発信を行っています。

活動主体：農業生産者、オタクソース(株)、井口漁業協同組合、西区元気じゃけん食堂食育イベント実行委員会

#### 地元伝統野菜を使ったお好み焼き作り

今年度から、「親子で元気じゃけんツアー」と題して、区のおいしい食をたくさん知って食べて満足してもらう企画を開始。初回は、小学生と保護者が観音ねぎ生産者の竹内照浩さんから話を聞き、WoodEgg(ウッドエッグ)お好み焼館で、観音ねぎがたっぷり入ったお好み焼き作りをしました。2回目は、井口わかめの種付け・刈り取り体験をしました。



座学や見学で学んだ後、お好み焼き作り挑戦する親子

「若い人にも観音ねぎに興味を持ってもらえたのでは」と話すのは、初回の講師を担当した竹内さん。子どもたちは、農作業の大変さやバランスの良い食事の大切さなど多くのことを学びました。

#### 元気じゃけん定食レシピコンテスト

区役所の食堂では「わ食の日」(毎月19日)に「元気じゃけん食堂」を開いています。昨年は同食堂の開室1周年を記念し、レシピコンテストを開催しました。応募約80作品を、西区元気じゃけん食堂食育イベント実行委員会が審査しました。



会長の大内康隆さん(48・上写真)は、最優秀賞の緒方美友さんの作品(下写真)について、「小松菜やしじみなど地産地消を取り入れた定食。3月18日(金)の同食堂で提供する予定なので、ぜひ食べに来て」と呼び掛けます。



### 中 安全・安心に商店街を楽しんでもらうためのパトロール

市中心部の商店街で誰もが安全・安心にショッピングなどを楽しめるよう、夜間パトロールなどに取り組んでいます。

活動主体：広島中央部地区環境保全対策協議会

#### 商店街、警察署、行政が連携

多くの買い物客や観光客が訪れる本通り、金座街、えびす通りなどの商店街では、通行禁止時間帯の自転車通行や、風俗営業などに勧誘・あせんするいわゆる「カラス族」、その他の客引き行為が数年来の課題となっています。そこで、商店街、警察、行政が連携した広島中央部地区環境保全対策協議会は、月2回、注意喚起や呼び掛けを行う夜間パトロールを実施。揃いのベストを身につけた協議会メンバーが、本通交番を出発し、1時間を目途に巡回しています。



通行禁止時間帯に自転車の乗り入れをしないよう注意しながらパトロール

活動のリーダーを務める多山順一さん(71・右写真)は「こうして私たちがパトロールするだけでも抑止効果があります。警察署にも協力してもらえるので心強いです。皆さんが安全・安心に買い物を楽しめるよう、これからがんばっていききたいですね」と力を込めます。



#### 安全・美観のためのパトロールも実施

また、歩行者の通行を妨げた美観を損ねたりする路上看板などを移動・撤去させるパトロールも実施しています。ルールやマナーをきちんと守って気持ちよく営業していただくよう呼び掛けています。



### 南 旧国鉄跡地を整備し、住民交流の場として活用

旧国鉄宇品線跡地を整備し、農作物の栽培やスポーツを通じた交流を楽しみながら美観維持を図っています。

活動主体：宇品パークゴルフ運営委員会 ポッポ宇品線 花と農の会

#### 地域団体が維持・管理を分担して活用

日清戦争時に広島駅と宇品港を結ぶ軍用鉄道として設置され、戦後も市民生活を支えていた旧国鉄宇品線。昭和61年の廃止後は未利用地となり、環境美化や防犯上の課題がありました。平成23年、地域団体と区で協議を行い、跡地を「スポーツ交流ゾーン」と農作物の栽培・収穫を行う「花と農ゾーン」として整備していくことが決まり、以来、地域主体で管理運営しています。

#### スポーツ交流や利用者の健康増進に

「スポーツ交流ゾーン」(左写真)は、近隣町内会、体育協会、老人クラブなどで構成する「宇品パークゴルフ運営委員会」が芝の手入れな



「毎朝2時間プレーするのが日課」という利用者も

ど敷地の維持管理を行っています。パークゴルフによる交流や健康増進に多くの人が利用しています。

#### 農作物の栽培・収穫で楽しく多世代交流

「花と農ゾーン」を担う「ポッポ宇品線 花と農の会」は、近隣町内会、保育園、福祉施設など13団体が構成。春はタマネギ、秋はサツマイモを栽培し、年2回の収穫祭を楽し



んでいます。代表の日浦章裕さん(77・上写真)は「野菜を育てて収穫し、おいしくいただく。子どもたちの食育に役立っているのもうれしいです。参加団体を増やして交流を楽しみたいですね」と夢を描きます。



### 安芸 ガイドの案内で巡る、かつての西国街道

ボランティアガイドの案内で街道沿いの史跡を巡るまち歩きを開催し、地域の活性化を図っています。

活動主体：瀬野川を活かそうプロジェクト・チーム歴史(瀬野川流域郷土史懇話会、西国街道・海田市ガイドの会、瀬野川郷土史研究会、プロジェクトYANO(やの)、船越誰誰草(たれゆえそう)保存会、西国街道をまもる会)

#### 地域ごとに楽しむ1里の旅

江戸時代、参勤交代の大名行列をはじめ、多くの人々が往来した西国街道。東西に街道が通っている安芸区では、海田町と連携し、瀬野、中野、海田、船越の4区間に分けて、それぞれ1里(約4km)のまち歩きを開催しています。

#### ガイドと歩く面白さを味わって

「歴史を感じる風情がたくさん残っていて、かつて街道を歩き来た人々の心情を想像しながら楽しく歩くことができた」。これは、まち歩きを終えた参加者の感想です。瀬野川流域郷土史懇話会の松本尚武会長



街道沿いの有力商家だった三宅家住宅(右)の前で案内を聞く参加者(海田編・令和2年2月)

(82・右写真)は、ガイドでは史跡を案内するだけでなく、地域に根差して活動する者だからこそ知っている面白い言い伝えやエピソードも紹介するよう心掛けているとのこと。「ぜひ現地で面白さを味わって」と話します。



#### ボランティアガイドも募集中!

「もっと歴史を学びたい」「歩くことが好き」という皆さん。ガイドとして一緒に活動しませんか。松本会長は「多くの人に西国街道を楽しんでもらえるよう、私たちと一緒に知識を深めていきましょう」と呼び掛けます。



街道沿いの歴史を解説するガイド(中野編・令和元年12月)

## 特集 どんなん? よその区



区担当課	電話	ファクス	区担当課	電話	ファクス
中区地域起こし推進課	504-2820	541-3835	安佐南区地域整備課	877-3354	870-6295
東区地域支えあい課	568-7735	568-7781	安佐北区地域支えあい課	819-0586	819-0602
南区地域起こし推進課	250-8935	252-7179	安芸区地域起こし推進課	821-4904	822-8069
西区地域起こし推進課	532-0927	232-9783	佐伯区地域起こし推進課	943-9705	943-9718

## 8区8様

市内各区では、区民と区役所が協力し特色あるまちづくりに取り組んでいます。魅力再発見や課題解決など各区の個性ある活動の一つずつ紹介します。図総務課(☎504-2112、☎504-2069)、区担当課は下表

個性あるまちづくり